

1. 教員および授業の概要

①教員名： 田中 輝美 (Terumi Tanaka)

②担当科目

博士前期課程：地域開発政策専門講義 7 (地域再生論)、地域開発政策研究指導 I～IV

③教員のプロフィール

- ・ 島根県浜田市出身
- ・ 山陰中央新報記者の後、ローカルジャーナリストとして独立
- ・ 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了
- ・ 博士 (人間科学)

④所属学会

地域社会学会、自治体学会、地域デザイン学会、観光学術学会

⑤研究領域や関心をもっているテーマ

- ・ 人口減少時代の地域再生
- ・ よそ者と地域
- ・ 鉄道、ツーリズム

⑥研究指導方針

・ 先行研究を踏まえ、地域社会の課題に対して、主に社会学、質的調査の手法を用いながら研究指導を行います。まずは自分で考えていただき、適切なタイミングで適宜助言を行います。

⑦指導可能な研究テーマ (あるいは過去 (現在) に指導した研究テーマ)

- ・ 地域再生
- ・ 関係人口

2. 研究業績リスト

①著書

【単著】

『関係人口の社会学：人口減少時代の地域再生』大阪大学出版会、2021年

『関係人口をつくる：定住でも交流でもないローカルイノベーション』木楽舎、2017年

『よそ者と創る新しい農山村』筑波書房、2017年

『ローカル鉄道という希望：新しい地域再生、はじまる』河出書房新社、2016年

『地域ではたらく「風の人」という新しい選択』ハーベスト出版、2015年

【共著】

『ソーシャルメディア論：つながりを再設計する』青弓社、2019年（第11章 地域——都市と地方をつなぎ直す担当）

3. 学生に対するメッセージ

日本全体の人口が減っていく人口減少時代において、地域再生のゴールとは何でしょうか。やはり人口が増えること、なのでしょうかね？簡単には答えが出ない難しい問いですが、だからこそ、考え続ける意味と面白さがあります。そして人口減少の最先端である島根県、は、この問いを考える最高のフィールドでもあります。一緒に学びながら、粘り強く向き合っていきましょう。